



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月14日

上場会社名 株式会社 インテア・ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3734 URL http://www.inteahd.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 大川 昭徳
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 斎藤 大浩 TEL 03-5227-8380
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	3,420	7.9	△53	—	△60	—	△95	—
28年3月期第2四半期	3,170	△6.8	△47	—	△55	—	△104	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △88百万円 (-%) 28年3月期第2四半期 △16百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△8.98	—
28年3月期第2四半期	△9.85	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	4,240	2,939	69.3	276.36
28年3月期	4,705	3,028	64.4	284.73

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 2,939百万円 28年3月期 3,028百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,700	10.4	10	42.2	10	—	△70	—	△6.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	10,637,200株	28年3月期	10,637,200株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	400株	28年3月期	400株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	10,636,800株	28年3月期2Q	10,636,800株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は完了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記述は、現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づくものであります。従いまして、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご承知おきください。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ

「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済対策や金融政策の効果により、企業収益や雇用情勢は堅調に推移しましたが、円高による業績悪化や個人消費に弱さもみられ、海外経済の下振れ懸念や英国のEU離脱問題、米国大統領選などの影響もあり、先行きは依然として不透明な状況となっております。

このような経済環境の中、当社グループでは、リアルアフィリエイト事業を中心としたスマートフォン向けのコンテンツ獲得が、携帯電話市場の成熟化に伴い、携帯電話の販売件数が従来よりも減少し、低位安定する傾向にある一方で、中長期により安定的な将来の収益源を確保するために、スクール、携帯ショップや飲食店などを運営する事業者向けに、スマートフォン用の電子会員証、顧客管理・予約台帳や、顧客送客のための予約システムといった継続可能性の高いサービスの提供を行う「店舗ソリューション事業」を引き続き強化してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高3,420,302千円(前年同期比7.9%増)、営業損失53,105千円(前年同四半期は営業損失47,587千円)、経常損失60,689千円(前年同四半期は経常損失55,226千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失95,478千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失104,797千円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(B2B事業)

B2B事業につきましては、リアルアフィリエイト事業を中心としたスマートフォン向けのコンテンツ獲得が、携帯電話市場の成熟化に伴い、携帯電話の販売件数が従来よりも減少し、低位安定する傾向にある一方で、中長期により安定的な将来の収益源を確保するために、スクール、携帯ショップや飲食店などを運営する事業者向けに、スマートフォン用の電子会員証、顧客管理・予約台帳や、顧客送客のための予約システムといった継続可能性の高いサービスの提供を行う「店舗ソリューション事業」の先行投資を引き続き強化してまいりました。

また、主にホテルや集合住宅向けに映像をはじめとしたコンテンツの配信サービス及びクライアントからサーバまで映像配信に関わるソリューションの開発及び保守・運用を展開してまいりました。

これらの結果、B2B事業の売上高は1,485,979千円(前年同期比9.6%増)、営業損失97,664千円(前年同期は95,156千円の営業損失)となりました。

(B2C事業)

スマートフォン向けのコンテンツ獲得が、携帯電話市場の成熟化に伴い、携帯電話の販売件数が従来よりも減少し、低位安定する傾向にある一方で、広告配信売上が増加し、増収減益となりました。

これらの結果、B2C事業の売上高は2,045,586千円(前年同期比5.2%増)、営業利益は153,949千円(前年同期比8.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：千円)

	前連結会計年度末	当第2四半期連結会計期間末	増減
総資産	4,705,765	4,240,263	△465,502
負債	1,677,171	1,300,636	△376,534
純資産	3,028,594	2,939,626	△88,968

総資産は、前連結会計年度末と比較して465,502千円減少の4,240,263千円となりました。主な理由は、受取手形及び売掛金が361,732千円減少したことなどによるものです。

負債は、未払金の減少340,573千円等により、前連結会計年度末と比較して376,534千円減少の1,300,636千円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したため、利益剰余金が95,478千円減少したこと等により、前連結会計年度末と比較して88,968千円減少の2,939,626千円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の64.4%から69.3%になりました。

(キャッシュ・フローの状況)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
営業活動によるキャッシュ・フロー	198,090	244,156
投資活動によるキャッシュ・フロー	△159,678	△69,280
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,469	—

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失63,923千円の計上、売上債権の減少361,732千円、のれん償却額92,375千円及び減価償却費44,934千円の計上等により、244,156千円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、無形固定資産の取得による支出41,487千円等により、69,280千円のマイナスとなりました。

財務活動による資金の増減はありませんでした。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は1,541,346千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月20日付の平成28年3月期決算短信で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,366,470	1,541,346
受取手形及び売掛金	1,389,733	1,028,000
商品及び製品	1,784	2,089
その他	246,925	49,575
貸倒引当金	△7,758	△6,622
流動資産合計	2,997,154	2,614,389
固定資産		
有形固定資産	26,231	20,271
無形固定資産		
のれん	723,852	631,477
その他	139,045	140,128
無形固定資産合計	862,898	771,605
投資その他の資産		
投資有価証券	743,842	762,002
長期貸付金	30,000	30,000
その他	63,345	51,949
貸倒引当金	△17,706	△9,955
投資その他の資産合計	819,481	833,996
固定資産合計	1,708,610	1,625,873
資産合計	4,705,765	4,240,263
負債の部		
流動負債		
買掛金	99,431	63,817
未払金	1,370,833	1,030,259
未払法人税等	32,967	35,180
賞与引当金	37,334	37,098
役員賞与引当金	23,400	18,649
ポイント引当金	2,312	337
返品調整引当金	—	789
その他	80,903	81,764
流動負債合計	1,647,182	1,267,898
固定負債		
資産除去債務	19,108	19,147
繰延税金負債	10,879	13,591
固定負債合計	29,988	32,738
負債合計	1,677,171	1,300,636

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	1,964,190	1,964,190
利益剰余金	40,282	△55,196
自己株式	△125	△125
株主資本合計	3,004,346	2,908,868
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,247	30,758
その他の包括利益累計額合計	24,247	30,758
純資産合計	3,028,594	2,939,626
負債純資産合計	4,705,765	4,240,263

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	3,170,269	3,420,302
売上原価	2,378,976	2,481,008
売上総利益	791,292	939,294
販売費及び一般管理費	838,880	992,400
営業損失(△)	△47,587	△53,105
営業外収益		
受取利息	105	308
受取配当金	4,801	5,762
還付消費税等	—	2,770
その他	1,868	1,749
営業外収益合計	6,776	10,590
営業外費用		
持分法による投資損失	6,882	17,050
匿名組合投資損失	7,488	—
その他	44	1,123
営業外費用合計	14,414	18,174
経常損失(△)	△55,226	△60,689
特別損失		
減損損失	—	3,229
その他	—	4
特別損失合計	—	3,234
税金等調整前四半期純損失(△)	△55,226	△63,923
法人税、住民税及び事業税	28,333	31,554
法人税等調整額	17,506	—
法人税等合計	45,839	31,554
四半期純損失(△)	△101,066	△95,478
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,730	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△104,797	△95,478

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純損失(△)	△101,066	△95,478
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	84,748	6,510
その他の包括利益合計	84,748	6,510
四半期包括利益	△16,317	△88,968
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△20,048	△88,968
非支配株主に係る四半期包括利益	3,730	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△55,226	△63,923
減価償却費	44,883	44,934
減損損失	—	3,229
のれん償却額	95,107	92,375
受取利息及び受取配当金	△4,907	△6,070
固定資産除却損	—	4
持分法による投資損益(△は益)	6,882	17,050
匿名組合投資損益(△は益)	7,488	—
売上債権の増減額(△は増加)	103,491	361,732
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,296	△2,757
前渡金の増減額(△は増加)	△7,765	675
前払費用の増減額(△は増加)	2,009	5,832
未収入金の増減額(△は増加)	△4,329	98,317
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,041	△35,614
未払金の増減額(△は減少)	10,757	△340,573
前受金の増減額(△は減少)	531	6,037
未払消費税等の増減額(△は減少)	△30,820	2,697
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△878	△8,886
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,868	△235
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,350	△4,750
返品調整引当金の増減額(△は減少)	—	789
ポイント引当金の増減額(△は減少)	243	△1,974
差入保証金の増減額(△は増加)	45,900	46
破産更生債権等の増減額(△は増加)	—	△2,859
その他	△10,518	△4,918
小計	181,292	161,158
利息及び配当金の受取額	4,907	6,070
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	11,889	76,927
営業活動によるキャッシュ・フロー	198,090	244,156
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△720	△2,322
有形固定資産の売却による収入	—	518
無形固定資産の取得による支出	△24,704	△41,487
無形固定資産の売却による収入	13,422	—
投資有価証券の取得による支出	△136,409	△25,988
その他	△11,265	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△159,678	△69,280
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己新株予約権の取得による支出	△3,469	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,469	—
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	34,942	174,876
現金及び現金同等物の期首残高	1,587,097	1,366,470
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,622,040	1,541,346

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	B2B事業	B2C事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,230,283	1,939,985	3,170,269	—	3,170,269
セグメント間の内部 売上高又は振替高	125,216	4,923	130,139	△130,139	—
計	1,355,499	1,944,908	3,300,408	△130,139	3,170,269
セグメント利益又は 損失(△)	△95,156	167,564	72,408	△119,996	△47,587

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△119,996千円は、セグメント間取引消去320千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△120,316千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	B2B事業	B2C事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,389,953	2,030,349	3,420,302	—	3,420,302
セグメント間の内部 売上高又は振替高	96,026	15,236	111,262	△111,262	—
計	1,485,979	2,045,586	3,531,565	△111,262	3,420,302
セグメント利益又は 損失(△)	△97,664	153,949	56,285	△109,391	△53,105

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△109,391千円は、セグメント間取引消去314千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△109,705千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。